

**添付資料**  
**2015 年度能力強化研修**  
**グループワーク結果**

## モジュール2

### 基本的なジェンダー分析ツールとその分析手法

#### グループA

##### 1. 表から何が読み取れますか？

###### Activity Profile

家事労働は女性が中心。農作業も家事も男性が思うほど女性は男性がやっていると考えていない。お金の管理は男性。農薬散布は男性。収穫は男女。

###### Daily Activity Calendar

作業量：女性の方が作業項目が多い。家事はすべて女性。女性は農作業と家事で1日中忙しい。

作業の種類：男性は農作業のみ。

お食事時間・お休み時間：男性は食事と休憩時間が確保されている。

睡眠時間：女性は早く起きて、遅く寝ている。

###### Access and Control

男女ともに概して男性がアクセス・コントロール権を有していると考えている。女性は自転車に乗れない。大型の家畜や作物は男性。農家の収入は男性。

#### グループB

##### 1. 表から何が読み取れますか？

###### Activity Profile

男女で労働分担/負担の認識が異なる。危険を伴う作業（農薬散布）は男性が担当。研修参加は男性が中心。収益の管理は男性が中心。作付計画はどちらがやっているのかわからない。

###### Daily Activity Calendar

女性の睡眠時間が短い。男性は農作業と余暇のみだが、女性は農作業、家事、育児で休息の時間が無い。男性が家事労働をしていない。家事は女性が主体。

###### Access and Control

アクセスは男性の方がより多いが、女性にも多くのアクセス権がある。しかし、コントロールはほとんど男性のみに認められている。男性の方が決定できる事項の割合が多い。

##### 2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

**研修**：栽培面の改善が女性の担当である場合、改善しない。栽培技術の向上において、研修参加者の選定が問題になる。

**移動手段**：女性には移動手段がない→行動範囲が限られる。

**経営・家計管理**：販売面の課題に女性が参画すべきか？収入管理に女性がかかわれていない←収益を上げる際に女性にインセンティブがない。作物を売っているのは女性で、販売収入を管理しているのが男性という現状。女性の意見が反映されない可能性がある。

**家事分担**：女性の労働負担が過大（特に再生産活動）

作付/営農計画：経営資源の管理。男女間の営農かかる認識の違い。

### 3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

- 女性が参加しやすい研修にする（託児所など）。
- 女性が自転車を使える時間帯を作る→情報入手。
- 女性も家計管理にかかわれるようジェンダー研修をする。
- 男性に家事・育児トレーニングをする。
- 女性が行っている家事労働のうち、男性が分担できるものを分担してもらうよう促す。ジェンダー研修の実施
- 農家向け研修の参加男女率を同等にする。
- 研修内容によって男女比を決める。
- 集団で移動できる手段の提供？移動できる範囲内での研修実施。
- 女性と男性の認識の違いの確認。共同で営農計画の作成。

## グループC

### 1. 表から何が読み取れますか？

全体として、男女の見解に相違がある。女性は過重労働で睡眠時間も短い。

#### Activity Profile

女性は農作業にほぼ平等に従事していると思っているが、男性はそう思っていない。手間のかかる農作業（watering, weeding, harvesting）は女性主体となって行っている。男性は収入に対する医師決定権が女性にも多少あると思っているが、女性はないと考えている。女性は家事負担が多いと思っている。女性は忙しい。

#### Daily Activity Calendar

女性は家事＋農作業に対し、男性は農作業のみ。男性はすべての家事にかかわっていると思っているが、女性は男性がかかわっていないことが多いと考えている。

#### Access and Control

女性は自転車が使えない。女性は研修へのアクセスが低い。男性が収入をコントロールしている。女性は鶏の管理以外はコントロールがないと考えている。アクセスに関する男女の認識に差異はないが、コントロールに関しての認識にズレがある。

### 2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

- 女性の研修へのアクセスが限られている。
- 女性の移動手段がない。
- 女性が過重労働になっているため時間の制約がある。
- 女性は収入管理が全くできていない。
- 女性の活動について男性があまり理解していない。

### 3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

- 女性も理解できる教材開発。紙芝居のような研修教材を用い、いつでも盛られるようにする。
- 男女への営農トレーニング。
- 研修の会場を村の中心にし、アクセスしやすくする。新たに移動手段を提供する。
- 女性への研修が必要であることを男性にも理解してもらう。
- 水道を整備する。
- 保育施設を作り、女性が研修できる時間を作る。
- 会計研修に女性も参加を促す（男女比が同じ）。
- 組合幹部へ女性を選出。女性の視点を取り入れた組合運営。

## グループD

### 1. 表から何が読み取れますか？

#### Activity Profile

傾向として大きな認識のずれはない。意識のギャップ。男性は自分たちが家事をやっていると思っている。家事・育児は女性がやっていると女性は思っている。生産活動も女性がやっていると女性は思っている。女性がやっていない仕事はないと男性はわかっている。

#### Daily Activity Calendar

男性の自由時間が多い。男性の家事ゼロ。女性は農業・家事・育児を行っている。

#### Access and Control

自転車に女性は乗らない。コントロールは女性が少ない。女性のコントロールは多少あると男性は思っている。コントロールの認識は男女で違う？

### 2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

- 女性は参加機会が少ない。
- 女性は自転車に乗れない→移動手段がない。
- 女性は忙しい。
- 組合員は男性だけ？組合員農家に女性も入る。女性の位置があいまい？
- 収入、土地、道具のコントロールは男性→女性のやる気が下がる。
- 女性の技術向上への動機づけが薄い。

### 3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

**意識変える系:** 男性の認識を変える。1日だけ男女の役割を変える。すべての作業を共同でやってみる。家計管理研修。

**女性来やすくなる系:** 1日の研修時間は短くする。研修に参加しやすくする（移動研修）子供の面倒を見るサービス。研修は2人で参加。

**女性のやる気上がる系:** 女性の使いやすい道具。組合に女性部を作る。

## モジュール3 ジェンダー分析手法

### グループA

#### 1. 調査の目的

以下の点の把握：農作業におけるジェンダー（役割）の違い①。農民組織におけるジェンダー課題②。園芸作物生産の実態③。ジェンダー格差④。プロジェクトの実施手法⑤。技術普及体制⑥。

#### 2. 調査対象者

農業省普及局、家政担当官、農業省カウンターパート、農業普及員、農民組織幹部、村幹部、農民組織の構成員世帯、土地あり農民、土地なし農民、ノンパートナー農家（家族構成別）。

#### 3. 調査手法

インタビュー、ジェンダー分析ワークショップ、現地視察、文献調査。

#### 4. 質問項目

調査対象者	調査手法	調査項目
農業普及員	聞き取り	③、⑤、⑥、⑦
家政官	聞き取り	④
村幹部・組合幹部	聞き取り	④、⑤
農家	WS（ツール1~3、コミュニティの資源マップ、月毎の作業、家計調査）	①、②、③、④、⑥、⑦

### グループB

前提状況：ベースライン調査は終了している（栽培作物、生産量、収益等）、農民組織はすでにある。

#### 1. 調査の目的

ジェンダー分析、研修対象者の課題を洗い出す。組織運営の在り方がわかる。

#### 2. 調査対象者

農業事務所職員（家政担当官も）、普及員、直接グループ農民組織男女。小規模園芸農民組織（男女）、家政担当官、農業普及員（男女）、小売人/仲買人（男女）、世帯（男女）

#### 3. 調査手法

農業事務所が持つデータ、ジェンダー分析ツール、担当官・普及員に対する聞き取り、個別インタビュー、フォーカスグループ（男女）、ワークショップ。

#### 4. 質問項目

質問項目	調査対象者	調査手法
栽培作物と時期（男女別）	直接グループ農民男女 プロジェクト	農業カレンダーを作る ベースライン調査結果
農繁期、農閑期の1日の作業（男女別）	直接グループ農民男女	農繁期・農閑期別デイリー・アクティビティ
作物ごとの作業（生産～販売）	直接グループ農民男女	農作物ごとの Activity Profile
出荷体制	直接グループ農民男女	インタビュー

農民組織体制、活動内容の確認	普及員 農民組織代表	インタビュー
組織内、世帯内の発言権	直接グループ農民男女	アクセス/コントロール表

## グループC

### 1. 調査の目的

① A国の農業セクターにおけるジェンダーの取り組み（政策、法、戦略、人員）がプロジェクトの方針と整合性があるかを見極めることで、プロジェクトより具体的なアドバイスができる。

② 農民男女の生活の実態を明らかにする。

③ ジェンダー配慮がなされた活動（研修、教材、方法、対象選定）がなされるようアドバイスできる。

### 2. 調査対象者

① 農業省普及局、ジェンダー担当官、②プロジェクト対象県の男女農民、農業普及員、③ プロジェクト対象県の男女農民、農業普及員

### 3. 調査手法

① 文献収集、インタビュー、② 文献収集、インタビュー、ワークショップ、③ 文献収集、インタビュー

### 4. 質問項目

調査項目	調査対象者	調査手法
①		
ジェンダー主流化の段階	農業省普及局・ジェンダー担当官	ジェンダー政策・戦略・統計などのレビュー、
ジェンダーに関する意識	農業普及員	作成済みのマニュアルや現場活動計画、半構造インタビュー
プロジェクトの活動の中でのジェンダー関連取り組み	プロジェクト専門家	ベースライン調査を基にプロジェクトが設定した指標の男女別設定半構造インタビュー
②		
男女の活動の違い 男女の生活時間の現状 資源に対する使用权、意思決定権	農民男女（グループ）	ワークショップ ( Activity Profile, Daily Activity Calendar, Access & Control)
収入支出管理（収入源、獲得手段、各収入の管理者、支出の意思決定者）	農民男女	男女別個別インタビュー（半構造） 家計調査
③		
研修マニュアルのジェンダー配慮の有無	農業普及員	既存マニュアルの収集及びインタビュー

**モジュール4**  
**分析結果の読み解き方：課題抽出**

**グループA**

1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業省ジェンダー戦略文書</li> <li>・家政担当官がジェンダー活動兼務</li> </ul>
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>（普及員に対する活動）</li> <li>・NGOによるジェンダー研修</li> <li>・農業省ジェンダー研修</li> <li>・ドナー資金で他の分野担当官が県普及員向けに10～20分話す（農家に対する活動）</li> <li>・県レベルに予算なし</li> <li>・ドナーや区農業事務所“女性を含める”</li> </ul>
職員の意識・実務能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家政担当官（女性）はジェンダー知識がある</li> <li>・男女比を一緒にすることがジェンダーであり、そのこと自体に抵抗はない</li> <li>・女性の方が忙しく農作業に従事していることは知っている</li> <li>・農業普及員はジェンダーについてあまり責任を感じていない</li> </ul>
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地は男性のもの</li> <li>・夫は妻が習ってきた技術を取り入れようとしめない</li> <li>・家計の管理は男性（わずかな食費や小遣いを妻に渡す）</li> </ul>
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業の多くを女性が行う</li> <li>・家事全般を女性が担う</li> <li>・収穫物はすべて男性のもの</li> <li>・自家消費作物は女性の作業、換金作物は50%</li> <li>・研修・ミーティングは男性</li> <li>・女性は庭先で自家消費用の野菜を栽培している</li> <li>・女性は大規模農家で賃労働</li> </ul>
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性中心</li> <li>・女性は決定された活動を実施するだけ</li> </ul>
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーは高い。メンバーは不明。</li> </ul>
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性15人、女性7人のみ（未亡人、独身、夫が出稼ぎ）</li> <li>・運営委員会（5名）は女性1名（会計）</li> <li>・トマト栽培を行う</li> </ul>

2. プロジェクトが期待する農家の役割

- ・研修への参加
- ・研修技術の活用：生産・収穫物管理、販売力の向上
- ・結果として、園芸作物生産量増加、園芸作物の面積当たり売上増加、園芸による収益増加

農家の予想される行動

	男性	女性
研修参加	参加する	参加できない、ノンパートナーは参加

研修技術活用（生産・収穫物管理）	一部活用	活用されない、ノンパートナーは活用する
研修技術活用（販売力向上）	向上	向上しない、ノンパートナーは向上

## グループB

### 1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー戦略文書がある。</li> <li>・家政担当官がジェンダー活動を兼務。</li> <li>・県にはジェンダー活動予算がない。</li> </ul>
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナー支援の条件としてじえんだ（女性メンバー）を含める等あり</li> </ul>
職員の意識・実務能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県事務所はジェンダー研修を受けたことがない。</li> <li>・（普及員女1）女性の過重労働が問題。</li> <li>・（普及員男1）ジェンダーとは女性の社会的活動促進、権利拡張</li> <li>・業務量も多く交通手段が確保できない。</li> <li>・（県作物担当官）農家グループを組織する際必ずジェンダーバランスに配慮</li> <li>・（普及員女2）女性は忙しい。男性は午前中仕事するだけ。</li> <li>・ジェンダー主流化の手段が分からない。</li> <li>・家政担当官がジェンダーの活動を実施できない（他業務で多忙）</li> <li>・の作物担当官は研修を受けておらず、ジェンダーに関する知識は浅い（ジェンダーバランスだけ）。</li> <li>・県作物担当官はジェンダー主流化の手段に見当がつかない</li> <li>・家政担当官は農業省のジェンダー研修を受講していない</li> <li>・家政担当官は他の仕事が多く、ジェンダーに係る活動をなかなか実施できない</li> </ul>
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊りがけでも理由が分かれば家族は反対しない。</li> <li>・お金の管理だけは女性に任せた方が良い。</li> <li>・男性は家のことなどするべきではない。</li> </ul>
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事・育児は女性</li> <li>・女性は大規模農家で賃労働に従事</li> <li>・農作業の多くは女性。メイズ（男性）→繁忙期以外やることがない。</li> <li>・研修・ミーティング参加者は主に時間のある男性</li> </ul>
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養鶏、ケールは女性がコントロール</li> <li>・農業収益は男性がコントロール</li> <li>・女性の研修参加をコミュニティリーダーが納得させる</li> <li>・土地管理は男性</li> <li>・農業の新しい技術導入は男性がコントロール。女性が研修に参加しても技術導入に決定権がない。</li> </ul>
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊りがけ研修は日程を早く教えてほしい（家事・育児のアレンジ）</li> <li>・女性の関心 メイズの収穫＜賃労働</li> <li>・女性・普及員は収入増に結び付くプロジェクトは歓迎</li> <li>・男性・コミュニティリーダーはメイズの繁忙期以外を園芸作物生産に振り向けた。しかし、手間暇のかかる作業を女性は嫌がる。</li> </ul>
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性15人、女性7人</li> <li>・一般メンバーの関心はあまり高くない。運営委員会の決定が周知されない。</li> <li>・グループのうちでトマト。普及員指導の後、家で実践。</li> <li>・研修参加は男性中心。女性も研修参加者が増えているが実践できない。</li> <li>・5名のメンバーによる運営委員会（決定機関）。うち女性は会計1名。お金の管理は女性と思っている。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイズ栽培は忙しい時期が決まっている。その期間以外は男性は時間がある。</li> <li>・夫婦で参加は少ない。</li> </ul>
--	---

## 2. 農家の予想される行動

農家が直接関与する活動	研修	研修技術の活用	農民組織活動
プロジェクトが農家に期待する役割	男女双方の研修参加	研修内容の理解と実践	組織的に販売する
農家の予想される活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加（男女両方）</li> <li>・男性だけ研修に参加（女性は忙しい）</li> <li>・女性が多忙で研修に参加できない（特に小さい子供のいる母親）</li> <li>・プロジェクト&lt;賃労働（現金）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性側が技術導入に必要なものを提供しない</li> <li>・園芸作物からの収入が女性に渡らない</li> <li>・女性の農業技術が伝わらない</li> <li>・夫が技術導入をOKしない。</li> <li>・実践しない（研修を受けても）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織活動に興味を示さない</li> <li>・組織活動をやめて個人で販売してしまう</li> <li>・運営委員化ばかり活動する</li> </ul>

## グループC

### 1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー戦略文書が作成されている。</li> <li>・ドナーによるジェンダー支援策、予算がある。</li> <li>・県にはジェンダー活動予算がない。</li> </ul>
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナー向け（？）に女性農家を農家グループに入れている。</li> <li>・ジェンダー活動は家政担当官の兼務（ジェンダー研修不参加）</li> <li>・他分野担当官によるドナー資金での普及員へのジェンダー啓発活動</li> <li>・農業省が20名/年でジェンダー研修を実施。</li> <li>・普及員研修の際にジェンダーについて10~20分話している。</li> </ul>
職員の意識・実務能力	<p>（県農業事務所作物担当官） ジェンダー研修は受けていない。ジェンダーバランスを男女参加数同量ととらえている。</p> <p>（県農業事務所家政担当官） ジェンダー研修は受けていない。県家政担当官は大学でジェンダーの授業を受けている。</p> <p>（農業普及員） NGO研修には出たが「よけい混乱」（男）。男女のリソースと活動理解+問題意識（女）。女性は農作業に従事しているが収穫物や収益は男性のもの（女）。ジェンダーは農家グループ・組織の男女バランス、男女の社会的活動促進・権利拡張、コミュニティにも伝統や習慣がありそれを崩せない（男）。女性は自分の家の農地の増収よりも賃労働に出る（収穫が増えても取り分が増えないから）（女）。研修を受けるのは男性だが、実際に農作業をするのは女性で、しかも女性は理由もわからず指示されるだけなので技術が根付かないと気付いている（男）。ジェンダーは女性のこと、自分の対応すべきことではない（男）</p>
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は昼間やることがなくてぶらぶら。家のことはしない。</li> <li>・男性の多くは本当に働かない。繁忙期以外はぶらぶらしている。</li> </ul>
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性は家事・子供の世話をするもの。男性は家のことはするものではない（グループリーダー）。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業はほとんど女性。</li> <li>・マーケティング、収入管理は男性。</li> <li>・村のことは男性のみで決める。</li> </ul>
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶏は唯一女性にアクセス・コントロール権あり。</li> <li>・女性はCapitalへのアクセス・コントロール権がない。</li> <li>・意思決定は少数の男性で行う（グループ活動）</li> <li>・意思決定は男性（世帯）</li> </ul>
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入増に結びつくプロジェクトは皆大歓迎（女性グループリーダー）</li> <li>・是非参加したい。泊りがけ研修も家族に子供の世話を頼み参加できると思う（女）。</li> <li>・一般メンバーの関心は残念ながらあまり高くない。運営委員会の決定が周知徹底されず活動がなかなか進展しないことが問題。</li> </ul>
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ設立目的は頼母子講→トマト栽培（農家グループ代表男性）</li> <li>・意思決定は男性。女性は実施するだけでメリットを感じられず来なくなってしまう場合も多い。</li> <li>・運営委員会に参加女性は会計1名のみ。メンバー全員で共同出荷に取り組みたい。</li> <li>・農業投入財の共同購入にも取り組みたい。</li> <li>・運営委員会の決定が周知徹底されない。</li> </ul>

## 2. 農家の予想される行動

	農家に期待している役割		農家の予想される行動	
	男性	女性	男性	女性
ベースライン調査	男女ともに参加し、協力する		知らないのに一家の主人だからと知ったかぶりですをつく	実際には当事者なのに話を聞いてもらえない
栽培研修参加	女性中心に男性も参加		（時間があるので）参加。しかし内容は女性に伝えない。	忙しすぎて出られない。毎回参加するのは難しい。泊りがけでもOK。でも子守りのアレンジ要。日程を早く知りたい。
栽培研修技術活用	男性自らが実行するか女性に伝えて実施してもらう	女性も参加・活用する	詳しく理由などの説明はせず、ただ新技術を実施するよう女性に指示	簡単な技術で手間のかからない、お金のかからないものならやる。意思決定は男性が行うので女性だけで研修で学んだことを実践することは女性の判断だけではできない。
マーケティングベースライン調査	男女ともに参加し協力する		回答できる。でも、女性の前では少なめに収穫・収入を言う。	女性の情報は限定的（値段など）
マーケティング研修への参加・活用	男女双方が参加し、協力して活用してくれる		男性のみで販売計画を立てて実施してしまう	意思決定プロセスに参加できないまま（研修に出席したとしても）
家計管理研修へ	研修に基づき男女間で話し合っ家計		収穫物・収入をす	女性は食費や少

の参加・活用	計画を行う	べて男性がとる。妻には 1~2 袋渡すだけ。	額消費財の購入のみ。 お金が足りなくて、貯蔵してあるメイズを持ち出しイチバで売る。
モニタリング	モニタリングに対応・対応する	男性は活動を知らないのに、モニタリングされてうそをつく可能性がある	モニタリングの対象にならない可能性がある

## モジュール5 ジェンダー視点に立ったプロジェクトの計画・立案

### グループA

#### PDMのジェンダー視点に立った修正

- ・ボトムライン

男女がお互いの役割や大変さを理解する。農産物の収穫による収入を男女共同で管理するようになる。関係者がみなジェンダー意識を持つ。

- ・ジェンダー課題

農作業や家事の多くを女性が行っている。男性だけが行っている活動がある。男性のみが家計管理をしている。

- ・活動

男女がお互いの農作業や家事をやってみる。成果3において家計研修を実施する。2-2と3-2の活動にジェンダー視点を入れる。

- ・上記を踏まえてのプラン

プランA: 女性が収入管理に参加する

プランB: 女性が収入管理に参加しない。

	課題	活動	指標
プランA	男性だけが活動に参加する 女性が研修に参加して技術を習得しても実際に農地で実践できない	2-3、2-4、3-3、3-4を女性が参加しやすい内容に 1-4 (3-2、3-3) Group Formationで男女2名でメンバーシップ登録する	1-1、1-2にジェンダー視点を取り込まれる (アプローチ、教材) 1-3「農民組織に登録する女性の数が増える」 1-4 研修への女性参加率が増える
プランB	男性がぶらぶら	カフェで研修を実施する。ハンコ方式(パスポート)を導入する。女性グループを作り、儲かることを男性に見せる。	

### グループB

#### PDMのジェンダー視点に立った修正

活動	アウトプット	指標
1-3 ジェンダー視点からの普及システムの強み、制約を検討する 1-4 TOT用のジェンダー配慮に関する研修マテリアル(研修におけるジェンダー配慮: 時期、時間等、農民男女とのコミュニケーション) 1-4 教材作成(農民用)(農業農家経営におけるジェンダー平等、理解しやすい教材の作成)		1-1 農民男女による園芸作物生産・販売を推進するための研修アプローチを県事務所職員が理解している 1-2 C/P機関が自分たちでジェンダー教材を作る
2-2 普及員(男女)研修 農業生産性向上研修の中でジェンダーに関する内容も入れる 2-3 農民グループに対しジェンダー研修を行う	2. 農家世帯男女協働により生産量・質改	2-3 女性の労働負担(時間・強度等) 2-4 技術採用世帯

2-3 技術研修で学んだ内容をグループの畑で試行する（→成功事例） 2-3 出稼ぎで不在の夫に技術理解の機会を設ける（→成功事例を見せる） 2-4 農家世帯男女に対してモニタリング訪問 2-5 労働負担（手間暇）を軽減できないか教材内容を見直す	善	
3-2 普及員（男女）研修 マーケティング研修の中でジェンダー配慮の内容を入れる 3-3（農家世帯男女に対し）家計管理研修を行う 3-3 組織体制・運営を見直す（妻も夫も参加できるようにする） 3-3 研修中に子守りをするボランティアグループを組織内に作る（相互扶助システムを作る） 3-4 農家世帯男女に対してモニタリング訪問		3-0 直接グループと間接グループの園芸作物販売による売り上げ

## グループC

### PDMのジェンダー視点に立った修正

成果	指標	指標の入手手段
アウトプット1	1-1 ジェンダー・フレンドリーなアプローチの開発 1-2 ジェンダー・フレンドリーな教材	各種マニュアル・プロジェクト活動計画
アウトプット2	2-1 +男女とも研修に参加している世帯、片方しか参加していない世帯、non-partner 世帯別で	研修参加者リスト
アウトプット3	3-1 男女ともに研修参加 3-2 +男女とも研修に参加している世帯、片方しか参加していない世帯、non-partner 世帯別で	研修参加者リスト 農民がつける家計簿（収入の増減）

### 活動

- 1-1 +ジェンダー配慮
- 1-2 +ジェンダー配慮
- 1-3 +ジェンダー配慮
- 1-4 ジェンダーフレンドリーなマニュアルを開発する（ジェンダー調査結果の活用）、+ジェンダーツールを使った分析を反映したジェンダー・マニュアル
- 1-5 ジェンダー啓発研修（作物局・普及局・アグリビジネス、作物担当官、家政担当官、アグリビジネス担当官）
- 2-1 小規模農家（男女）
- 2-2 +ジェンダー啓発&組織強化、モニタリング
- 2-3 +ジェンダー啓発、+夫婦単位で
- 2-4 農家グループ（男女）
- 2-5（+ジェンダー配慮）

- 3-1 小規模農家（男女）
- 3-2 +家計管理
- 3-3 +家計管理
- 3-4 農家グループ（男女）
- 3-5 （+ジェンダー配慮）

**モジュール6**  
**ジェンダー視点に立ったプロジェクトのモニタリング・評価**

**グループA**

**モニタリング用調査項目**

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
役割交換体験の実施状況	実施回数、参加者数（男女） 体験してどうだったか？何か変わったか	実施報告書  参加者（男女）	聞き取り調査
家計管理研修の実施状況	研修の実施回数・参加者数（男女） 家計管理の導入乳研修の感想など	プロジェクト報告書  参加者（男女農家）	報告書レビュー  聞き取り調査
研修アプローチにおけるジェンダー理解促進度	研修アプローチ・教材の内容 どこで躓いたか（技術・意思決定）、賛成またはメリットを感じている男性農家の存在	研修実施報告書、研修教材 参加者（ノンパートナーと比較）	聞き取り調査 現場視察
研修参加状況	参加者数（男女） なぜ参加できなかったのか（しなかったのか）	出席簿 参加者	出席簿 聞き取り調査
農民組織の登録状況	登録者数（男女）	登録簿	登録簿レビュー
普及員研修におけるジェンダー理解促進度	普及員のジェンダー理解度	普及員（男女別）	聞き取り調査

**グループB**

**モニタリング用調査項目**

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
農民グループのメンバー構成	農民グループメンバー男女比 グループ活動参加への男女比	モニタリングレポート 出席簿	文献調査
組織的な意思決定の仕組み	グループでの意思決定方法 委員会メンバーの男女比とその役職 委員の選出方法 運営委員会の活動内容	グループの規約  選出記録  グループ規約 議事録・出席簿	
グループの会計状況	販売金額と内訳 支出額と内容	出納簿 会計係	ヒアリング
共同販売・購入の状況	農産物の販売の有無、男女別量 農業資材の購入の有無、量、内容、分配先 利益分配の方法 利益分配の満足度（男女別）	記録簿  農民組織メンバー、男女 ノンパートナー	ヒアリング

研修参加のための支援の仕組み	仕組みの有無と内容	農民メンバー男女	ヒアリング
----------------	-----------	----------	-------

## グループC

### モニタリング用調査項目

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
教材等が見てわかりやすい	① 絵・写真の数 ② 利用者のコメント	① マニュアル ② 普及員＋農民	文献調査 インタビュー
ジェンダー啓発研修をしているか	ジェンダー研修実施回数	研修報告書	文献調査
夫婦単位で参加しているか	夫婦そろっての参加者数、カップル数	研修参加者リスト	文献調査
モニタリングを実施しているか、研修で得た知識・技術を活用しているか	モニタリング回数 利用度	モニタリング・シート 報告書	文献調査